

6年学年だより Believe

令和7年4月25日

第6学年だより

第3号

古閑啓之・岩木智恵・元泉沙英子

早いもので6年生になって1か月が経とうとしています。新しいクラスや交換授業など、6年生の生活に慣れ始めた子どももいれば、ちょっと疲れが溜まってきた子どももいると思います。そうした中でも、1年生のお世話や縦割り班の準備など、学校のために頑張っている子どもたちを労い、励ましていきます。

交換授業が始まっています！～社会の授業～

社会の授業1回目では、6年生の社会科の学習内容（政治・歴史・国際）を見通しました。加えて、「社会は覚える教科ではなく、考える教科だよ。」「正解はないよ、みんなと考えることを楽しみたい。」という教師の思いを伝えました。

また、「スマートフォンの使用時間が多いと成績が下がる」という研究結果を取り上げた新聞記事を活用し、当事者としてどう考えるか、という学習をしました。めあては、「自分の考えをもとう」です。以下、子どもたちの考えを簡潔にしたものです。

【スマホ必要・スマホは便利派】

- 学習アプリなどで使うけど、1時間以内にしようと思う。
- スマホがないと、友達との話題についていけない。
- あまり話せない人も、LINEで仲良くなれる。
- 親との連絡手段として必要。
- 自分にはあてはまらない。5時間以上使うけど、成績は下がっていません！

【スマホ不要・スマホは悪影響派】

- 使用時間を決めればいい、という話だけど、それを守れていない人が多い。だから、成績が下がるのだと思った。
- 使い方は家族で話し合わないといけない。

自分と結び付けて考える子、資料を批判的に検討する子など、子どもたちの発言や考え方は、さすが6年生だな、と感じさせるものばかりでした。

子どもの意見は、圧倒的にスマホ必要派が多いです。私は、子どもの頃（連絡網がありました）、土日の早朝には必ず、友達の家の固定電話に電話をかけていました。そのため、「本当にスマホが必要か？」と懐疑的に思います。一方で、子どもたちの意見に対して、「必要ない！」と一蹴するのではなく、どのように使うことが、便利なのか、よい使い方なのか、を子どもたちと一緒に考えていく必要があるのだなと、考えるようになりました。

保護者の皆さんは、子どもたちの考えをどのように受け止めますか。

ぜひ、日ごろのニュースを見て、子どもにも考えられそうだなと思った際には、「どう思う？」と、子どもに問いかけてみてください。大人が想像する以上に子どもはよく考えていて、興味深い意見が聞けると思います。